

(様式5)

市民意見募集手続の結果について

1 計画等の案の名称 上田市過疎地域持続的発展計画(案)

2 募集期間 令和7年12月8日(月曜日)から令和8年1月7日(水曜日)まで

3 実施結果

(1)件数 11件(5人)

(2)提出方法

持参	郵便	電子メール	ファクシミリ	計
2件(1人)	0件(0人)	9件(4人)	0件(0人)	11件(5人)

(3)意見の区分

種別	内容	件数
反映する意見	意見等の内容を踏まえ、計画案の修正等を行ったもの	1
趣旨同一の意見	意見等の趣旨が案に盛り込まれているもの	1
参考とする意見	事業の実施段階等で参考とするもの	8
その他	検討の結果、計画案に反映しない意見等	1
合計		11

4 意見に対する市の考え方

(1)反映する意見(意見等の内容を踏まえ、計画案の修正等を行ったもの)

No.	意見区分	意見の概要(要旨)	市の考え方
1	3 産業の振興 (p15~19)	「3 産業の振興」「(1)現況と問題点」「イ 観光」(p15)において、「新しい付加価値づくりと観光消費の拡大による経済効果を地域内に循環させる仕組みづくりが、極めて重要な課題となっています」とあるが、課題だけ明記しても打ち手が見えず、特に最大の観光主体となる可能性がある「巢栗溪谷」についての記載がない。	巢栗溪谷については、「3 産業の振興」「(1)現況と問題点」及び「(2)その対策」において、追記及び表現を変えさせていただきます。 【別添「計画案」p15、16】

(2)趣旨同一の意見(意見等の趣旨が案に盛り込まれているもの)

No.	意見区分	意見の概要(要旨)	市の考え方
1	4 地域における情報化(p19~21)	「1 基本的な事項」「(1)上田市の概況」「イ 過疎の状況」(p2)において、「デジタル化に対応するための情報基盤整備」が明記されているが、「4 地域における情報化」(p19~21)における記載は時代遅れとなっており、先を見据えた施策がない。	デジタル化に対応するための情報基盤整備については、ハード整備のみでなく、ソフト整備も含めており、「4 地域における情報化」「(2)その対策」「イ」に記載のとおり「持続可能な武石地域情報伝達方法を検討」してまいります。

(3)参考とする意見(事業の実施段階等で参考とするもの)

No.	意見区分	意見の概要(要旨)	市の考え方
1	全体 1 基本的な事項 (1)上田市の概況 (p1~3)	全体的に内容や表現が曖昧で、現状を何とかする方向で、将来を見据えていない。 また、移住や若者を呼び込むための施策はいくつかあると思うが、武石の豊かな自然を活用する方針が少ない。 「1 基本的な事項」「(1)上田市の概況」「イ 過疎の状況」(p2)において、「持続的な発展を行えるよう、移住・定住や地域間交流の促進」や「若者定住促進のための総合的な条件整備や少子化対策」について記載されているが、もう少し具体的にしてほしい。 また、「1 基本的な事項」「(1)上田市の概況」「ウ 産業構造の変化、地域の経済的な立地特性、社会経済的発展の方向」(p3)において、「住宅造成、分譲等の受入れ条件の整備及び住環境としての魅力向上のため、基幹都市をはじめとする他地域とのアクセス時間の短縮のための	本計画は、総合的な計画であることから、漠然とした印象をいただくかもしれませんが、内容的には地域の持続的発展、ひいては過疎地域からの脱却を目指し、想定される課題を解消するための様々な取組を漏れなく盛り込んでおりますので、御理解願います。 「2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成」の「(2)その対策」及び「(3)計画」には、想定する多様な事業を掲載しており、豊かな自然を活用することや、広域幹線道路網の整備など広域的な対応を含め、御提案の趣旨を踏まえ、事業の実施段階で参考といたします。

		道路改良事業等、様々な行政分野で広域的な対応が望まれています」とあるが、これに対する施策が見えてこない。	
2	1 基本的な事項 (4)地域の持続的発展の基本方針 (8)公共施設等総合管理計画との整合 (p12、13)	「1 基本的な事項」「(4)地域の持続的発展の基本方針」及び「(8)公共施設等総合管理計画との整合」(p12、13)において、「目指します」、「努めます」、「検討します」のような表現が多過ぎるため、結果はどうであれ「実施します」とすべきである。	「1 基本的な事項」「(4)地域の持続的発展の基本方針」では、「第三次上田市総合計画」における「地域まちづくり方針」の「【武石地域】まちづくりの基本的方向性(発展の方向性)」と整合を図った記載としております。 また、「1 基本的な事項」「(8)公共施設等総合管理計画との整合」「ア 公共施設等の管理に関する基本的な考え方」「【公共施設5原則】」及び「【インフラ3原則】」では、「上田市公共施設等総合管理計画」と整合を図った記載としておりますが、御提案の趣旨を踏まえ、事業の実施段階において、武石地域の住民が将来に希望を感じる施策を検討し、武石地域の持続的発展に向けた施策を実施してまいります。
3	1 基本的な事項 (5)地域の持続的発展のための基本目標 (p12) 3 産業の振興 (p15～19)	「持続的発展計画」であるはずが「現状維持」が目標となってしまう。 厳しい現状であることは承知しているが、各施策も対処療法にとどまっており、これでは将来に対する希望を感じる事ができない。 例えば、温暖化傾向を踏まえ、今後、武石地域の気候条件がワインなどの栽培好適地になる可能性の検討(試験栽培)など、わずかでも武石地域の未来に希望を見出せるような施策が一つでもあれば、住民の意識も変わるかと思う。 武石地域の冷涼な気候・緩や	「武石地域の出生数」の目標値は「維持(令和12年)」としております。 基準値である「12人(令和2年)」に対し、令和3年から令和6年までの実績がいずれも「11人以下」で基準値を下回っていることから、現実的な目標値として数値目標を掲げましたので、御理解願います。 御提案のような希望に満ちたアイデアを事業の実施段階において取り組むよう努めてまいります。

		<p>かな傾斜が続く地形などは好適地の条件を満たしており、あとは地味が合っていれば良質なワイン生産地として生まれ変わる可能性があると思う。</p> <p>また、ワイナリーは、農業だけでなく工業（加工・醸造）、販売業、飲食業にわたって広く事業従事者を必要とするため、雇用創出にもつながる。</p> <p>現状維持を目標とするのではなく将来につながるアイデアを盛り込んでほしい。</p> <p>今、武石に必要なのは「施策」ではなく「希望」ではないか。</p>	
4	<p>3 産業の振興 (p15～19)</p>	<p>農業・林業について、産業優先の国の偏った政策によるところが大きく、市町村レベルでは対応が難しいが、ほとんどの国で農村の若者人口が増加しているヨーロッパの取組（持続可能な農村計画の策定など）や国内の事例を参考にすれば、工夫できる領域はあると思う。</p> <p>今までどおりの農業・林業では若者は魅力を感じず、事業承継は困難だと思う。</p>	<p>御意見のとおり地域に適した農村計画の策定などは、持続可能な農村社会を形成する上で、重要な施策の一つであると考えます。</p> <p>現行の新規就農者への補助制度に加え、スマート農業など時代に即した就農者への新たな補助制度の創設に向け、参考といたします。</p>
5	<p>5 交通施設の整備、交通手段の確保 (p21～22)</p>	<p>デマンド交通をはじめとした既存の公共交通について、デマンド交通を親戚など武石地域住民以外にも利用できるようにする等、利用者や市民の要望を聞き、積極的に改善していくよう、計画に具体的に記載してほしい。</p>	<p>市内の公共交通は、路線バス、鉄道及びタクシー等の複数の事業者の協力のもと成り立っており、武石デマンド交通もその一つに位置付けられます。</p> <p>御意見にあります地域外の方への一般利用の拡大をした場合、武石地域外で事業を展開される事業者との事業地域に関する重複等の課題があることから（他市ではデマンドの導入によりタクシー事業者が廃業した例もあります。）、地域外の方への一般利用拡大は困難と考えております。</p>

			よりよい武石デマンド交通とするため、引き続き利用者の皆様からの御意見を参考にさせていただきながら運営してまいります。
6	<p>7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進 (p25～28)</p>	<p>住民が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、介護事業の継続に関する以下の5つの施策を計画に加えてほしい。</p> <p>①介護予防のみならず、介護サービス存続・拡充に係る施策に過疎対策事業債を活用すること。</p> <p>②ヘルパー事業の拡大や新規事業立ち上げに対する補助制度を創設すること。</p> <p>③地域包括支援センター機能の強化を図ること。</p> <p>④介護予防と要介護支援の両立を図ること。</p> <p>⑤外国人介護職員の住居・生活支援のための補助制度を創設すること。</p>	<p>御指摘のとおり、武石地域における介護事業について、デイサービスやグループホームが休止となるなど喫緊の課題と認識しております。</p> <p>また、御提案いただきました①から⑤の施策案は介護基盤の強化に資する重要な視点と受け止めております。</p> <p>特に中山間地域等の人口減少地域については、専門職等の人材確保が極めて困難になっており、サービス提供体制の維持・確保が難しい状況です。</p> <p>介護保険に関する取組は、武石地域はもとより市全体の共通の課題として捉え、全市的なバランスも考慮しながら、武石地域の高齢期の皆様を支える施策を検討してまいります。</p>
7	<p>10 集落の整備 (p32～33)</p>	<p>過疎地域でなくなるために何をすべきか漠然とした計画になっている。</p> <p>武石地域総合センター周辺のにぎわいを創出するような目標を定め、プロジェクトを編成して取り組み、価値のある計画としてほしい。</p> <p>武石地域内外の人が集まれる場所(空間)を生み出すために、以下の4つの視点が重要である。</p> <p>①こどもの居場所としての古民家たまり家再生プロジェクトへの支援</p> <p>②旧太田屋旅館の民泊施設化</p> <p>③地域おこし協力隊員への支援</p> <p>④旧JA信州うえだ店舗の再利用</p>	<p>本計画は、総合的な計画であることから、漠然とした印象をいただくかもしれませんが、内容的には地域の持続的発展、ひいては過疎地域からの脱却を目指し、想定される課題を解消するための様々な取組を漏れなく盛り込んでおりますので、御理解願います。</p> <p>武石地域総合センター周辺の賑わいの創出については、関係するまちづくり団体の皆様と連携を図りながら、市として主要なイベントの開催や空き店舗等活用に係る補助、地元イベント開催補助など環境整備や団体支援を取り組んでおりますが、御提案いただいた手法を参考に、今後も関係者と協力を図りながら取り組みたいと考えておりますので、御理解願います。</p>

8	12 再生可能エネルギーの利用の推進 (p34~35)	営農型太陽光発電を中山間地域で行っている茅野市の事例について、視察をするなど研究してみてはどうか。	御提案については、事業の検討段階で参考といたします。
---	--------------------------------	---	----------------------------

(4) その他(検討の結果、計画案に反映しない意見等)

No.	意見区分	意見の概要(要旨)	市の考え方
1	1 基本的な事項 (2)人口及び産業の推移と動向 (p3~8)	「1 基本的な事項」「(2)人口及び産業の推移と動向」「表1-1(3)人口の見通し「上田市全体」」(p6)において、上田市全体では2070年までの予測があるが、武石地域がないのはなぜか。	「上田市版人口ビジョン」では、武石地域における2070年までの予測もありますが、あくまでも参考資料として掲載されているため、本計画案では上田市全体の2070年までの予測のみ記載しております。

※類似の意見はまとめて回答しているため、提出件数と一致しない場合があります。